次の方程式,不等式を解け.

$$(1) \qquad (4\sqrt{2})^x = \frac{1}{32}$$

$$(2) 2^x - 16 \cdot 2^{-x} - 15 = 0$$

(3)
$$\left(\frac{1}{9}\right)^x - \frac{1}{3^x} - 6 > 0$$

〔解答例〕

(1)
$$2^{\frac{5}{2}x} = 2^{-5}$$
 $\Rightarrow x \Rightarrow 5$ $\therefore x = -2$

(1)
$$2^{\frac{5}{2}x} = 2^{-5}$$
 すなわち $\frac{5}{2}x = -5$ ∴ $x = -2$
(2) $t = 2^x$ ①

とおくと $t > 0$
 $t - \frac{16}{t} - 15 = 0$

両辺に t をかけて $t^2 - 15t - 16 = 0$ すなわち (t+1)(t-16) = 0

よって
$$t=16$$
 であるから①より $\boldsymbol{x}=4$ $\leftarrow 2^{\mathsf{T}}=16$

$$(3) \quad \left(\frac{1}{3}\right)^x = t \quad \cdots \quad 2$$

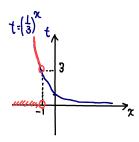
とおくと t>0

$$t^2 - t - 6 > 0$$
 すなわち $(t - 3)(t + 2) > 0$

これより 3 < t

② から
$$3 < \left(\frac{1}{3}\right)^x \ge$$
なり $\left(\frac{1}{3}\right)^{-1} < \left(\frac{1}{3}\right)^x$

よって,底が $\frac{1}{2}$ であるから x < -1



2. 次の方程式を解け.

$$\log_4(4x - 7) + \log_2 x = 1 + 3\log_4(x - 1)$$

〔解答例〕

真数条件より

$$\begin{cases} 4x - 7 > 0 \\ x > 0 \\ x - 1 > 0 \end{cases} \quad \therefore x > \frac{7}{4} \quad \dots \dots \text{ }$$

不等式は

両辺に 2 をかけて $\log_2(4x-7) + 2\log_2 x = 2 + 3\log_2(x-1)$

変形して
$$\log_2(4x-7) + \log_2 x^2 = \log_2 4 + \log_2(x-1)^3$$
 2 | ya M + | of a N = (of a M N)

これより
$$\log_2\{(4x-7)x^2\} = \log_2\{4(x-1)^3\}$$
 すなわち $(4x-7)x^2 = 4(x-1)^3$

展開して
$$4x^3 - 7x^2 = 4(x^3 - 3x^2 + 3x - 1)$$
 すなわち $5x^2 - 12x + 4 = 0$

因数分解して
$$(5x-2)(x-2)=0$$
 $\therefore x=\frac{2}{5}, 2$ ·····②

よって①、②より
$$x=2$$

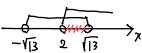


- 3. 次の不等式を解け.
- (1) $\log_3(x+2) + \log_3(x-2) < 2$
- (2) $(\log_3 3x)(\log_3 9x) < 2$

〔解答例〕

(1) 真数条件より x+2>0 かつ x-2>0 : x>2 ·····① ① のもとで $\log_3(x+2)(x-2) < \log_3 9$ であるから (x+2)(x-2) < 9

すなわち $x^2 < 13$ であり $-\sqrt{13} < x < \sqrt{13}$ ……② よって、①、② から $2 < x < \sqrt{13}$



(2) 真数条件より 3x > 0 かつ 9x > 0 ∴ x > 0 ……③

すなわち $-3 < \log_3 x < 0$ であり $\log_3 \frac{1}{27} < \log_3 x < \log_3 1$

よって、底が3であるから $\frac{1}{27} < x < 1$ これは③を満たす.

4 a, b を正の実数とする. 連立方程式

$$(*) \begin{cases} x\sqrt{y^3} = a \\ \sqrt[3]{x} \ y = b \end{cases}$$

を満たす正の実数 x, y について考えよう.

連立方程式(*)を満たす正の実数 x, y は

$$x = a^{2}b^{2}$$
, $y = a^{p}b^{2}$

となる. ただし

$$p = \frac{\boxed{fy}}{\boxed{\bar{\tau}}}$$

である.

(2) $b = 2\sqrt[3]{a^4}$ とする. a が a > 0 の範囲を動くとき、連立方程式(*)を満たす正の 実数 x, y について, x+y の最小値を求めよう.

 $b=2\sqrt[3]{a^4}$ であるから、(*) を満たす正の実数 x、y は、a を用いて

$$x = 2^{2}$$
 a^{+} , $y = 2^{3}$ a^{-}

と表される. したがって、相加相乗平均の関係を利用すると、x+y は $a=2^q$ のと き最小値 $\sqrt{\mathbf{z}}$ をとることがわかる. ただし

$$q = \frac{\boxed{\grave{\lambda} J}}{\boxed{\updayskip}}$$

である.

〔解答例〕

$$\begin{cases} x\sqrt{y^3} = a & \cdots \\ \sqrt[3]{x} & y = b \end{cases} \quad \cdots 2$$

とおく.

(1) ① の両辺 2 乗して $x^2y^3 = a^2$ ……①

② の両辺 3 乗して
$$xy^3 = b^3$$
 ……②′ $\frac{\mathbb{O}'}{\mathbb{O}'}$ として $x = \frac{a^2}{b^3} = \begin{bmatrix} a^2b^{-3} \end{bmatrix}_{x \neq y}$ $\leftarrow \frac{\chi^2 y^3}{\chi y^3} = \frac{a^2}{b^3}$

$$\frac{\chi^2 y^3}{\chi y^3} = \frac{\alpha^2}{\lambda^3}$$

これを②'に代入して $\frac{a^2}{b^3}y^3=b^3$ となり $y^3=a^{-2}b^6$) 元集

これより $y = \boxed{a^{-\frac{2}{3}}b^2}_{g \neq y \neq}$ $p = \boxed{\frac{-2}{3}}_{g \neq y \neq}$

(2)
$$b = 2\sqrt[3]{a^4} = 2a^{\frac{4}{3}}$$
 とすると, (1) より

$$x = a^{2}(2a^{\frac{4}{3}})^{-3} = 2^{-3}a^{2}a^{-4} = 2^{-3}a^{-2}$$

$$y = a^{-\frac{2}{3}} (2a^{\frac{4}{3}})^2 = 2^2 a^{-\frac{2}{3}} a^{\frac{8}{3}} = \boxed{2^2 a^2}$$

x > 0, y > 0 より相加相乗平均の関係を利用すると

$$x + y \ge 2\sqrt{xy} = 2\sqrt{\frac{1}{8a^2} \cdot 4a^2} = \sqrt{2}$$



等号成立は x=y つまり $\frac{1}{8a^2}=4a^2$ であり $a^4=\frac{1}{32}=2^{-5}$ ∴ $a=2^{-\frac{5}{4}}$

よって x+y は $a=oxed{2^{-rac{5}{4}}}_{\stackrel{>}{\scriptstyle \lambda}_{/}\cap}$ のとき最小値 $oxed{\sqrt{2}}_{\stackrel{>}{\scriptstyle \neg}}$ をとる.

$$q = \boxed{\frac{-5}{4}}_{\ref{4}}$$